

県民の目をあざむく「まかしは許せません

角野 達也 県議会議員

事実を認めない知事

予算総括質疑で私学助成について、「宮城の（私立高校への運営費）補助単価は、今年度全国で36番目、下に8県しかありません。順位は年々下がりがりつぱなし。全国15位の財政力から見れば恥ずべき水準です。引き上げるべきです。」と求めました。

知事の答えは、「平成28年度の復興分を除いた一般会計にせめる私学助成額（運営費補助だけでなく授業料軽減補助や共済費補助など私学助成の全体）の割合は、全国13位となっており、他県に劣るものではないと考えている」というものでした。確かに全国13位ですが、私立学校が多く、生徒数が相対的に多い



県は、比率が高くなるのは当たり前です。農業県が農業予算の比重が高くなるのと同じように…。そこで、幼稚園から高校生まで私立に通う生徒一人当たりの助成単価はいくらなのか調べてみると、全国42位だったのです。

県民に事実を知らせたい

議会ではよくあることですが、悪い数字を認めたくないものだから、いいように見える数字を出して、否を認めようとしぬい知事。 「まかし」をする県政をほつとくわけにはいきません。県民に隠されている事実やトリックを暴き出して、県民に知らせることも、県議としての役割かなと思っているのです。がんばります。

2月定例県議会(第359回)を終えて

2月17日に開会した2月定例議会が、3月16日に閉会しました。

本議会は、安倍政権の暴走政治と国民との間の矛盾が深化するもと、また震災から6年目を迎える中で開かれました。

党県議団は、暴走政治ストップ、「富県戦略」と「創造的復興」で被災者・県民を置き去りにする村井県政の諸問題を明らかにし、積極的に論戦しました。

1、議案の賛否について

今議会には、138の議案が提出されました。党県議団は、予算議案や蒲生干潟にかかる七北田川の河川堤防、雄勝の防潮堤2件など全部で29議案に反対をしました。

2、意見書・

請願等について

(1) 意見書について

① 指定給水装置工事事業者への更新制の導入等を求める意見書 ② 無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書 ③ 今後の通

商交渉に関する意見書 ④ 政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書 ⑤ 性犯罪等被害者を支援するワンストップ支援センターの設置等を求める意見書

⑥ 高齢者も若者も安心できる年金制度の実現を求める意見書 ⑦ 復旧・復興事業の総仕上げのための人材確保を求める意見と見書の、7本の意見書が本会議に提案され、全会一致で可決されました。党県議団は、③と⑦を提案しました。

(2) 請願について

「被災者に医療・介護の負担免除継続を求める請願」が本会議にかかり、わが党県議団とみやぎ県民の声が発議討論をいたしました。この請願には、わが党議員団とみやぎ県民の声、社民党県議団、無所属の会の22名が賛成しましたが、自民・公明などの反対多数で不採択となりました。

(3) その他

閉会日に「北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議案」を全会一致で採択しました。

所属する常任委員会・特別委員会



大内 真理 (宮城野区)
・保健福祉委員会
・地域防災調査特別委員会



角野 達也 (太白区)
・文教警察委員会
・地域活力調査特別委員会



内藤 隆司 (大崎市区)
・建設企業委員会
・地域防災調査特別委員会



中嶋 廉 (泉区)
・環境生活農林水産委員会
・大震災復興調査特別委員会



福島かずえ (若林区)
・経済商工観光委員会
・大震災復興調査特別委員会



天下みゆき (塩釜市区)
・保健福祉委員会副委員長
・いじめ・不登校等調査特別委員会



三浦 一敏 (石巻・牡鹿区)
・建設企業委員会副委員長
・総合観光戦略調査特別委員会



遠藤いく子 (青葉区)
・総務企画委員会
・地域活力調査特別委員会